

# 2022年3月期 決算概要

**アキレス株式会社** (コード番号:5142 東証プライム市場)

2022年5月11日

# 1. 2022年3月期 業績

# 1. 2022年3月期 業績 — 連結損益計算書

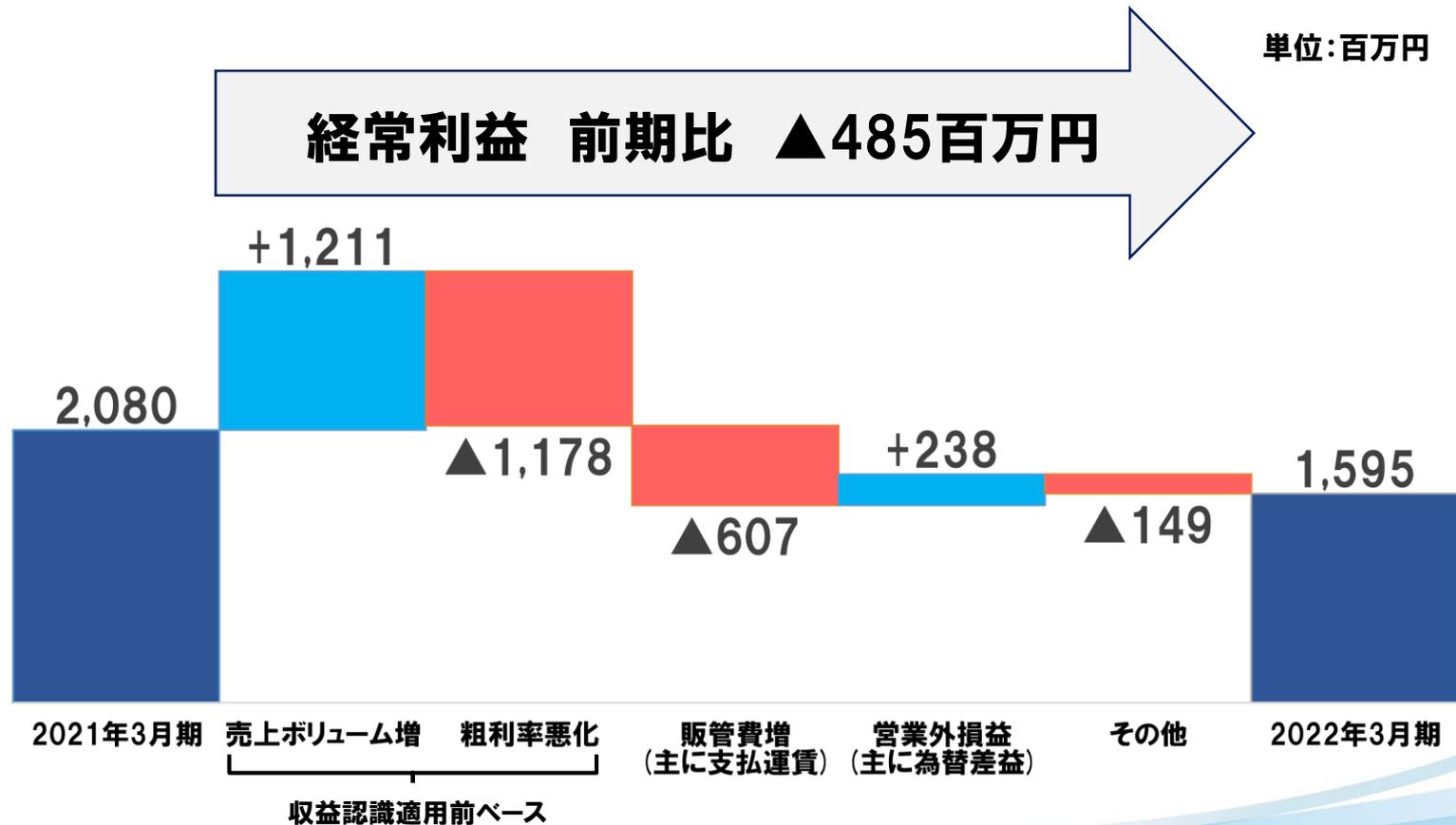
- 前期から売上回復も、利益面は原材料や物流コスト増加の影響により減益
- 前回予想比、売上高は主にシューズ事業が新型コロナ第6波の影響を受け苦戦。  
利益面は全社的な経費削減・コストダウン活動の強力な推進や為替差益により予想を上回る着地

(単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前期比		前回予想 2022年2月8日
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率	
売上高	73,617	-	※ 75,953	-	2,336	-	77,000
売上総利益	16,001	21.7%	15,660	20.6%	▲ 340	-	
販売費及び一般管理費	14,431	19.6%	14,804	19.5%	373	-	
営業利益	1,569	2.1%	855	1.1%	▲ 714	-	600
経常利益	2,080	2.8%	1,595	2.1%	▲ 485	-	1,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,215	4.4%	1,525	2.0%	▲ 1,690	-	1,100
1株当たり純利益(円)	204.72		97.12		▲ 107.60	-	70.03

※2022年3月期の期首より適用の「収益認識に関する会計基準」等による売上高への影響額 ▲3,241を含んでおります。  
また、2021年3月期は上記会計基準適用前の数値であるため、前期比増減率を記載しておりません。

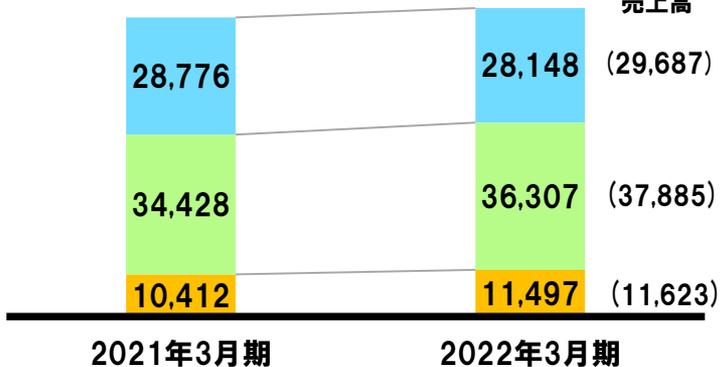
# 1. 2022年3月期 業績 — 経常利益の増減分析



# 1. 2022年3月期 業績 — セグメント情報

売上高:百万円

(ご参考)  
収益認識適用前  
売上高

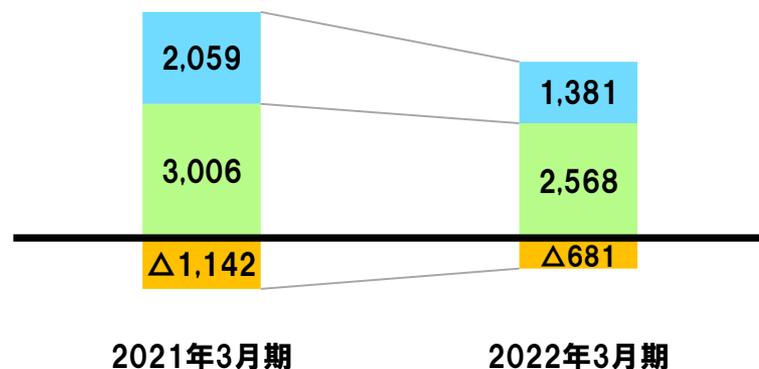


■ シューズ事業 ■ プラスチック事業 ■ 産業資材事業

※ 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております

- シューズ事業は回復基調も新型コロナ第5・6波の影響を受ける
- プラスチック事業のフィルムは国内・外で好調に推移
- 産業資材事業の半導体搬送用部材は期を通して堅調に推移

セグメント利益(損失):百万円



■ シューズ事業 ■ プラスチック事業 ■ 産業資材事業

※各セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費)調整前の数値であります

- シューズ事業は売上の回復に伴う粗利増及び固定費の削減により損失が縮減
- プラスチック事業ならびに産業資材事業は原材料や物流コスト増加の影響により減益

# 1. 2022年3月期 業績 — 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減
流動資産	43,816	44,428	612
有形固定資産	22,625	25,499	2,874
無形固定資産	304	400	95
投資その他の資産	10,116	9,795	▲321
資産合計	76,862	80,123	3,260
流動負債	23,109	24,406	1,297
固定負債	7,366	7,988	621
負債合計	30,476	32,395	1,918
純資産	46,386	47,728	1,341
負債・純資産合計	76,862	80,123	3,260
自己資本比率	60.4%	59.6%	▲0.8%

- 建物・構築物 2,670
  - うち、中国子会社【阿基里斯 佛山】  
建屋関係 2,700  
(阿基里斯 佛山は2022年中稼働予定)

- 投資有価証券 ▲618
  - 売却及び時価評価による減
- 繰延税金資産 185

- 支払手形及び買掛金 1,997
- 短期借入金 ▲450

- 長期借入金 450

- 為替換算調整勘定 1,271

# 1. 2022年3月期 業績 — 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	4,509	4,707	197
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 2,830	▲ 5,030	▲ 2,199
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 650	▲ 860	▲ 210
現金及び現金同等物に 係る換算差額	90	642	552
現金及び現金同等物の 期末残高	8,129	7,588	▲ 541

- 前期に計上した特別収入  
「子会社株式の売却による収入」  
の減少 ▲2,406

## 2. 2023年3月期 業績予想

## 2. 2023年3月期 業績予想

- ウクライナ情勢、原材料価格や為替動向、新型コロナ感染症の流行継続、半導体不足問題など先行き不透明な事業環境の継続が予想される
- 好調が続く海外市場への拡販活動をはじめ、コストダウン活動や製品価格への転嫁活動のさらなる推進により、コストアップの吸収に注力する

(単位:百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期			2023年3月期 第2四半期累計	
	実績	売上比	実績	売上比	通期 計画	売上比	前年同期比 増減額	計画	前年同期比 増減額
売上高	73,617	-	75,953	-	85,000	-	9,046	40,000	3,568
営業利益	1,569	2.1%	855	1.1%	900	1.1%	44	△400	▲1,008
経常利益	2,080	2.8%	1,595	2.1%	1,300	1.5%	▲295	△200	▲1,055
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,215	4.4%	1,525	2.0%	600	0.7%	▲925	△300	▲815
年間配当金 (中間/期末)	50円(※) (期末)		40円 (期末)		40円予想 (期末)				

(※)特別配当10円含む

※ 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております

あなたの身近にいつも…アキレス

The logo for Achilles, featuring a stylized red triangle on the left and the word "Achilles" in a bold, red, sans-serif font to its right.

アキレスは  
あきらめなイズム。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。